

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・学校の長期休暇期間中、一部例外あり	・利用定員に対してのスペースは必要最低限確保しているが、状況によっては狭く感じてしまう場合がある。今後の課題として、現状の場所できかにしてスペースを確保するか、また、移転を検討すべきか話し合いを行っていききたいと思います。
	②	職員の配置数は適切であるか		○	・曜日によりギリギリの日がある。 ・休みが重なった場合の調整を行ってほしい。	・基準配置の職員数は確保しているが、体調不良等が出た場合には、配置も難しくなることがあります。今後も必要最低限の職員配置ではなく、利用児童や保護者及び職員も安心して安全に利用や支援ができるよう配置できるように努めます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・職員会議等で話し合いは行っているが、実際にPDCAサイクル(目標設定と振り返り)を活用しての業務改善に取り組むことができていない。今後の課題として、業務改善委員会を設置し、業務改善に取り組むことができるように努めます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・分からない。	・現在、第三者委員会の設置はありません。設置するかどうか検討を重ねていききたいと思います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・分からない。	・保護者のニーズや児童の状態を確認したうえで、個別支援計画の作成を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	・よく分からない。把握していない。	・重症心身障害児を主としているため、標準化されたアセスメントツール自体があるのか分かっていない状況です。アセスメントツールを使用していないが、保護者との情報共有を通して、現在の児童の状況を把握するよう努めています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	・入浴が主なため、活動の時間が取れない。	・重症心身障害児が主として利用されている状況で、事業所のサービスの一部として入浴サービスを行っています。入浴自体も清潔に保つや身体観察を行うことで利用児童の把握に努めるための活動の一つと考えています。

適切な支援の提供

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○	・送迎-入浴-水分-保清-送迎 (入浴をして送迎で時間がいっぱい の時が多い)	・入浴や医療ケア等があり、学校終了後から利用 する時間に限りがあるため、空き時間使ったのふ れあい遊び等しかできていない状況です。今後の 課題として、少ない時間でもできる活動がないか、 話し合い取り組んでいくことができるように努めま す。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を きめ細やかに設定して支援しているか		○		
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせ放課後等デイ サービス計画を作成しているか		○		・利用児童の状況に応じて、個別支援計画を作成 しているが、個別と集団の活動を適宜組み合わせ て作成することが難しい状況です。今後の課題とし て、どのようにすれば、個別活動と集団活動を組 み合わせて計画の作成ができるか検討を続けて いきます。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わ せをし、その日行われる支援内容や役割 分担について確認しているか		○		
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合 わせをし、その日行われた支援の振り返 りを行い、気づいた点などを共有している か		○		
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとるこ とを徹底し、支援の検証・改善につなげて いるか		○		
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判 断しているか		○		
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っているか		○	・分からない。	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当 者会議にその子どもの状況に精通した最 もふさわしい者が参画しているか		○	・職員数が限られているため、実際 に支援にかかわっている職員が参 加できていない。	
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル 発生時の連絡)を適切に行っているか		○		
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整 えているか		○	・把握していない。	

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・現在、交流を図ることができていません。今後、実施できるように検討を重ねていきます。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		・積極的に参加することはできていないが、グループ会議や協議会等、参加するチャンスがある時には参加するように努めます。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・しっかりとしたペアレントトレーニングができていないと考えると、今後、研修等を受け、ペアレントトレーニングに取り組むことができるように努めます。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉘	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言を支援を行っているか	○			
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・今年に限って保護者会は開催されていない。(新型コロナウイルスの影響)	・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができなかった。今後は、感染症対策なども考えたうえで、実施できるように努めます。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・必要時に出している。	
	㉜	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・地域住民との関わりがなかなか取れない状況である。今後も地域住民との関わりが少しずつでも行えるように努めます。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・行っているが、利用児童の参加はない。	・現状、実際に利用児童がいる時間帯で行うことができていないが、今後、利用児童もいる状況でどのように実施できるか検討を行います。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			